

新年特別講演会のご案内

水産業や漁村は、新鮮で安全な水産物を安定的に供給することに加え、豊かな自然環境の形成、海の安全・安心の提供、やすらぎ空間の提供など多面的な機能を有しています。しかしながら、海洋環境の変化や水産資源の減少、漁村における人口減少や高齢化などの課題に直面しており、漁業の活性化だけでなく、漁業以外の産業を取り込んだ漁村の活性化が求められています。2022年3月に策定された水産庁の新たな「水産基本計画」および「漁港漁場整備長期計画」では、漁村ならではの地域資源を活かした漁村の魅力と所得向上を目指す「海業^{うみぎょう}」が組み込まれました。海業を通して、水産物の消費増進や交流促進などが期待されています。本講演では、海業研究の第一人者である東京海洋大学 婁小波氏から、海業の基本的な概念や海業に期待される社会経済的意義、近年行われている海業の事例等をご講演いただきます。多数のご参加をいただきますようご案内申し上げます。

記

- 日時**： 令和6年1月12日（金）15:40～16:40 懇親会 17:30～19:30
- 場所**： 講演会場 大阪産業創造館 6F 会議室 A・B
大阪市中央区本町 1-4-5（大阪メトロ堺筋本町駅徒歩5分）
懇親会場 羽根つき焼小籠包 鼎's 堺筋本町店
中央区南本町 2-1-11 ライラック南本町ビル 1F（講演会場から徒歩6分）
- 参加費**： 講演会 無料
懇親会 一般 4,000円、学生 2,000円（当日現金にて徴収します）
- 講演題目**： 「海業の振興と課題」
- 講師**： 婁 小波（ろう しょうは）氏
東京海洋大学 副学長・海洋政策文化学部門 教授

要旨： 沿岸漁村地域は古来、伝統産業である漁業、水産業によって支えられ発展してきました。しかし、1990年代以降の漁業の衰退や水産業の空洞化などを背景に、崩壊の危機に直面する漁村地域が散見されるようになりました。その打開策が問われて久しいが、「海業（うみぎょう）」がいま再び注目されるようになってきました。2022年3月に新水産基本計画や新漁港漁場整備長期計画において、「海業振興」が漁村経済活性化を推進する基本政策の一つとして採用されるようになったからです。今後、いかに効果的・効率的に海業を振興するのか、どのようにして漁村の新たな地域産業としてそれを定着させるのか、海業の真価が問われています。本報告では、沿岸漁村地域経済活性化の原点に立ち返って、改めて海業とは何か、海業振興の意義やその直面する課題について皆様と一緒に考えてみたいと思います。

申込締切： 令和5年12月29日（金）→必ず事前にお申込みをお願いします。

申込み先： <https://forms.gle/vbNyd2jt3CiWUKSV6>

問合せ先 公益社団法人 日本船舶海洋工学会関西支部事務局
TEL：06-6879-7593 FAX：06-6879-7594 携帯電話：070-1305-2902
E-mail：k.office@jasnaoe.or.jp